

アグロ・イノベーション 2018

出展者インタビュー



株式会社オプティム

執行役員 インダストリー事業本部 休坂 健志 氏
インダストリー事業本部 サブマネージャー 岸山 洋介 氏

もっと多くの方に
スマート農業を知ってもらいたい

— お立場と役割を教えてくださいませんか？

(休坂) 弊社には、プラットフォーム事業本部とインダストリー事業本部という2つの事業部があります。私はイン

ダストリー事業本部の責任者をしています。農業や医療などの産業を、AI・IoTの技術で変革していければと思っています。

(岸山) 弊社事業によって栽培された農産物を販売する業務と展示会対応を行っています。

— 貴社の課題とは？

(岸山) 我々が提供しているスマート農業をご存知の方はまだまだ少ない、まずは生産者さんのみなさんに私たちの取り組みを伝えることが課題ですね。もう一つは農作物を買い取って、販売することを進めていますので、そのことをどう

アグロ・イノベーション 2018

会場：東京ビッグサイト（西1・2ホール）
日時：2018年11月20日（火）～22日（木）
10:00～17:00

<http://www.jma.or.jp/ai/ja/index.html>

やって伝えていくかということです。

アグロ・イノベーションでは生産者がたくさん集まるイベントだと伺いました。農林水産省のイベントも同時開催されるということですので、たくさんの農業従事者の方々のご来場が期待できます。また、バイヤーや流通の方々との接点にも期待ができるので、幅広い方にPRができるのではないかと感じました。展示会を通じて、たくさんのお客様と接点を持ちたいと考えています。

減農薬野菜で 高付加価値を生み出す

--- アグロ・イノベーションを知ったきっかけは？

(休坂) アグロイノベーションは多業界のお客様と出会う貴重な場との紹介を受け、展示会の内容と趣旨に共感でき参加させていただき事にしました。

--- どのような生産者の方に貴社の取り組みを伝えたいですか？

(休坂) スマート農業を実際にやってみたいと考えている方ですね。スマート農業やアグリフードプロジェクトを通じて、高付加価値な農業にチャレンジしてみたいとご関心をお持ちの方に伝えたいです。

「減農薬野菜を作って、高付加価値を生み出していく」という我々のコンセプトに興味をお持ちいただければありがたいです。私たちのソリューションは説明商材なので、説明をさせて頂いて、共感をしていただくような場が必要になります。

(岸山) 展示会でお話をさせて頂くと、私たちの考えに共感して下さる方がたくさんいらっしゃいます。「面白いね」「これからそういった農業は必要だね」「農業にITは必要だね」とおっしゃっていただくことが非常に多いですね。

展示会は お客様に提案できる貴重な場

--- 展示会のメリットとは？

(岸山) いろいろな農家の方とお話をさせて頂いて、どういった課題があるのかを聞けることがいいですね。今の農家の方々が持っている課題に対して、私たちにできることを直接、伝えられる場です。

(休坂) また、展示会はなんとといっても、たくさんのお客様と出会うことができます。展示会のブースではどのような課題を持っているか伺い、その後もフォローアップをしています。会期後すぐに、商談の打ち合わせになる場合もあります。私たちは農業分野への参入は後発で、まだ3年ほどしか経っていないんです。それにもかかわらず、弊社を知ってくれている方が増えています。展示会に出展し続けることでその効果が出てきているのだと思います。

--- 今回、展示会では10コマという大きなブースで出展いただけます。その理由は？

(休坂) 展示するのであれば、展示物を抑えて小さくまとめるよりは、大きなブースで展示を工夫した方がいいと思っていますからです。いろいろな方が来場されると思いますし、弊社はさまざまな取り組みをしていますので、事業について丁寧な展示をする方がご理解いただけます。結果的に、費用対効果は高くなります。それは今回だけではなく、あらゆる展示会でそのようにしています。

--- 展示で注意していることは？

(休坂) なんのために出展するのか、どのような成果を得たいのかを仮説でも良いので明確にするようにしています。コンセプトが決まらないと何を配置すればいいかも決まりません。最初のコ

OPTiMの スマート農業とは？

AI・IoT・ロボットを有効活用できる
プラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」
と連携し、あらゆる情報をデジタル化。
そのデータを元にAI分析のアプローチを繰り返し
コスト削減、利益向上につなげます。

<https://www.optim.co.jp/agriculture/>



ンセプトを決めるところが展示会の出展で一番重要だと思います。

(岸山) アグロ・イノベーションでは、アライアンスとスマートフーズプロジェクトの集大成をご提示できるのではないかと考えています。

--- 来場者へのメッセージをお願いします。

(休坂) AI・IoT・ロボットといった新しい技術を使うことで農業は大きく変わります。今まで農業分野では機械化は進んできたのですが、情報化は進んできませんでした。農家のみなさんが暗黙知としてしかわからなかったことをきちんと見える化することで、安定的な成果に繋げることができるようになりました。また、ロボットを使うことで労働力の代替も可能になります。人口が減少していく中で、ロボットなどを活用することで競争力を高めていくことができる、農業の大きな転換点になるのではないかと思います。ご来場のみなさんと一緒に農業の変革を目指していきたいと思っています。

<本インタビューの内容に関するお問合せ>
一般社団法人日本能率協会
アグロ・イノベーション 事務局
TEL 03-3434-1988
E-mail ai-e@jma.or.jp